

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	① 体験と交流の学習機会の促進		
具体的施策	自然体験学習の推進		
事業内容	・各校の環境教育の実施に関する指導助言		
担当課	一貫教育課	事業対象年齢	小学生・中学生
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・宇治学（総合的な学習の時間）や生活科・理科を通じて環境教育が実施できるよう、京都府教育委員会や環境省などの事業を各小中学校に通知するとともに、その実施を呼びかけた。 ・宇治学（総合的な学習の時間）を中心に、自然体験学習を各学校において実施した。 			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	自然体験学習について、多様な事業の情報提供を行うことができたため。
		課題	多様な学習内容が求められており、すべてに学習時間を確保することが困難な状況である。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	① 体験と交流の学習機会の促進		
具体的施策	環境学習の推進		
事業内容	・学校版環境ISO実施事業		
担当課	学校教育課	事業対象年齢	小学生・中学生
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
学校版環境ISO実施事業の中で、各校・園が節電・節水やごみの減量・分別などに取り組んだ。			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	小学校22校、中学校10校、幼稚園4園において環境学習を推進することができたため。
		課題	各校・園の取組状況にはばらつきがある。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	① 体験と交流の学習機会の促進		
具体的施策	環境学習の推進		
事業内容	・各校の環境教育の実施に関する指導助言		
担当課	一貫教育課	事業対象年齢	小学生・中学生
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・宇治学（総合的な学習の時間）や生活・理科を通じて環境教育が実施できるよう、京都府教育委員会や環境省などの事業を各小中学校に通知するとともに、その実施を呼びかけた。 ・宇治学（総合的な学習の時間）を中心に、環境学習を各学校において実施。 			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	環境教育について、多様な事業の情報提供を行うことができたため。
		課題	多様な学習内容が求められており、すべてに学習時間を確保することが困難な状況である。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	① 体験と交流の学習機会の促進		
具体的施策	環境学習の推進		
事業内容	・講師派遣等による各校の取り組み支援		
担当課	環境企画課	事業対象年齢	小学生
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
小学校から環境学習会の申し込みがなかったため、実施していない。			学校の事情を考慮し、より利用しやすいスタイルへ変更して実施予定。
評価	D	評価理由	内容については計画の基本目標と施策の方向性に合致しているが、宇治市の全小学校における実施率を向上させられていないため。
		課題	教育委員会を通じて学習会の実施を呼びかけているが、応募に至る小学校がなかった。ただし、関係機関と調整して、改善を図っている。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	① 体験と交流の学習機会の促進		
具体的施策	福祉ボランティア学習の推進		
事業内容	・各校の福祉体験学習充実に向けての指導助言		
担当課	一貫教育課	事業対象年齢	小学生・中学生
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・生活科や道徳をはじめ、宇治学（総合的な学習の時間）において、高齢者はもとより広く福祉への理解を深める学習を行えるよう、京都府教育委員会や関係団体の実施事業などを通知するとともに、実施を呼びかけた。 ・宇治学（総合的な学習の時間）を中心に、福祉体験学習に取り組んだ。 			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	職場体験学習の一環として、多くの福祉体験学習をする事ができたため。
		課題	福祉体験ができる事業所の確保などが困難な場合がある。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	① 体験と交流の学習機会の促進		
具体的施策	職場体験学習の推進		
事業内容	・仕事・文化体験活動推進事業		
担当課	一貫教育課	事業対象年齢	小学生・中学生
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・KYO発見 仕事・文化体験活動推進事業補助金を交付。(2,100千円) ・全中学校の2年生で職場体験学習を実施。 ・全小学校の4年生で体験学習を実施。 			補助金交付を継続し、各小中学校での職場体験学習等の実施を支援する。
評価	A	評価理由	市立の全小・中学校で職場体験学習等の実施ができたため。
		課題	特になし。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	① 体験と交流の学習機会の促進		
具体的施策	指導者の掘り起こしと育成		
事業内容	・人材バンク事業		
担当課	生涯学習課	事業対象年齢	妊婦～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
登録講師の研修と交流を目的とした「人の心をつかむ広報・集客力アップ講座」を開催。参加者16名。人材バンクの広報を目的に、「宇治まなびんぐ2017」で、人材バンクの紹介を展示した。			引き続き、広報を行い、学習機会の促進につなげる。
評価	B	評価理由	市民への広報ができた。登録講師の研修を行うことで育成につながったため。
		課題	引き続き登録講師への研修を開催するとともに、効果的な広報を検討する必要がある。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	① 体験と交流の学習機会の促進		
具体的施策	市内の資源を有効活用した安全な遊び場・学習の場の確保		
事業内容	・地域子育て支援拠点事業 ・地域子育てひろばへの支援		
担当課	こども福祉課	事業対象年齢	0歳～就学前
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
地域子育て支援拠点の開設及び地域子育てひろばへの支援を実施しており、平成28年度は、新たな地域子育て支援拠点「ひあにしおぐら」を開設。 平成28年度実績 地域子育て支援拠点 8か所 地域子育てひろば 6か所			市民ニーズの把握、分析に努めながら、引き続き今後の支援施策の展開を検討する。
評価	A	評価理由	宇治市子ども・子育て支援事業計画における確保方策に基づき、西小倉地において、新たな地域子育て支援拠点を開設したため。
		課題	宇治市子ども・子育て支援事業計画における確保方策に基づき、空白地となっている中学校区での地域子育て支援拠点の開設が必要である。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(①) 体験と交流の学習機会の促進		
具体的施策	市内の資源を有効活用した安全な遊び場・学習の場の確保		
事業内容	・放課後子ども教室支援事業		
担当課	教育支援課	事業対象年齢	小学生
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
・北槻島小学校において概ね月1～2回程度（計23回）開催。 (参加人数のべ1,393人) ・笠取第二小学校において計168回開催。 (参加人数のべ1,351人)			新たに平盛小学校においても実施予定。
評価	C	評価理由	すでに開催している2校はいずれも学校内での開催であり、地域資源の活用に至っていないため。
		課題	近隣の公共施設等での開催を検討する必要がある。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(②) スポーツ・レクリエーションや文化・芸術活動の促進		
具体的施策	スポーツ・レクリエーション機会の充実		
事業内容	・各種スポーツ教室		
担当課	生涯学習課	事業対象年齢	小学生～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
・レッツニュースポーツを春・秋それぞれ4回、計8回開催。 計184人参加。 ・ニュースポーツひろばを黄檗体育館にて14回、西宇治体育館にて17回開催。 ・屋外ニュースポーツひろばを西宇治中学校で2回、東宇治中学校で1回開催。計1,333人参加。			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	一定の参加人数を得ることができ、市民にスポーツの場を提供することができたため。
		課題	引き続き定期的に開催をするとともに、効果的な広報を検討する必要がある。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(2) スポーツ・レクリエーションや文化・芸術活動の促進		
具体的施策	文化・芸術にふれる機会の充実		
事業内容	・合唱団活動 ・紫式部市民文化賞 ・宇治十帖スタンプラリー	・市民交流ロビーコンサート	
担当課	文化自治振興課	事業対象年齢	0歳～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・合唱団活動では、89人の合唱団員が、詩、曲を通じて音楽芸術の感性を高めた。 ・紫式部市民文化賞では、50件応募があった中で、中学・高校生から3件の応募があった。 ・宇治十帖スタンプラリーでは、本市の歴史文化の理解を深めるため、古跡・史跡等をコースに取り入れた。 ・市民交流ロビーコンサートでは、全17組中1組の小学生が出演。 			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	A	評価理由	合唱団、市民文化賞の両事業において、児童・生徒の入団者、応募者が増加した。スタンプラリー、ロビーコンサートも、広く児童・生徒に認知されてきている。今後も継続実施する。
		課題	特になし。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(2) スポーツ・レクリエーションや文化・芸術活動の促進		
具体的施策	文化・芸術にふれる機会の充実		
事業内容	・児童・生徒を対象とした古典の入門や古典に親しむきっかけづくりとなる事業の展開(①) ・夏の企画展関連事業(②) ・「宇治学」と連携した事業(③) ・職場体験学習の受け入れ(④)	事業対象年齢	妊娠～18歳未満
担当課	源氏物語ミュージアム	事業対象年齢	妊娠～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
①子ども体験型教室「しかぞすむ 一生生きるいろはを源氏でもー」 (全6回) 参加者 小学生53人 ミュージアムさんぽ 参加者93人 (幼稚園児57人、小学生36人) かるた教室 参加者20人 ②館長からの招待状 利用者269人 (小学生113人、中学生30人、保護者126人) 企画展ギャラリートーク 参加者83人 (小人29人、大人54人) 源氏探検 参加者31人 (幼児4人、小学生15人、保護者12人) ③総合的な学習の時間を活用した宇治学との連携による施設見学 小学校1,248人 (18校) 中学校112人 (2校) ④職場体験学習 23人 (8中学校)			①拡充 (子ども体験型教室の実施回数拡大) ②拡充 (ワークショップ (複数回) の開催) ③継続 ④継続
評価	B	評価理由	計画の基本目標と施策の方向性に沿った事業を行えており、事業の新規実施や複数回化などの拡充を図ることができた。
		課題	利用者・参加者数の更なる拡大を図るために、広報手段を検討する必要がある。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(2) スポーツ・レクリエーションや文化・芸術活動の促進		
具体的施策	伝統行事への参加		
事業内容	・宇治田楽まつり		
担当課	文化自治振興課	事業対象年齢	0歳～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
市内の児童・生徒、約20人が宇治田楽まつりに参加した。			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	A	評価理由	伝統文化を再興させた宇治田楽まつりは徐々に児童・生徒に認知されつつあるため。
		課題	特になし。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(2) スポーツ・レクリエーションや文化・芸術活動の促進		
具体的施策	指導者の掘り起こしと育成		
事業内容	・市民文化芸術祭、子ども手づくり文化祭 ・合唱団活動		
担当課	文化自治振興課	事業対象年齢	0歳～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
子ども手づくり文化祭において、連合育友会・子ども会連絡協議会の指導のもと、延べ1,291人がクラフト制作に参加。 市少年少女合唱団では、6人の指揮者及び伴奏者により、団員89人の合唱指導をしていただいた。			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	どちらの事業も昭和54年から続いているものであり、指導者は代わりながらも、長年にわたり子どもたちの指導をしていただいているため。
		課題	指導者の高年齢化と、後進のなり手の不足。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(2) スポーツ・レクリエーションや文化・芸術活動の促進		
具体的施策	指導者の掘り起こしと育成		
事業内容	・スポーツ推進委員の研修		
担当課	生涯学習課	事業対象年齢	妊娠～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
市民の多様なスポーツニーズに対応するため、知識・技術の習得のため必要な研修を実施。 実技研修会5回、審判講習会1回			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	スポーツ推進委員の資質向上が図られ、様々な行事を通じて研修内容を市民に還元できたため。
		課題	引き続き定期的に開催をするとともに、市民への効果的な還元方法・行事を検討する必要がある。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(2) スポーツ・レクリエーションや文化・芸術活動の促進		
具体的施策	大会やイベントの開催		
事業内容	・市民文化芸術祭、子ども手づくり文化祭 ・合唱団活動		
担当課	文化自治振興課	事業対象年齢	0歳～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
子ども手づくり文化祭において、宇治市茶道連盟の協力により、茶道を学んでいる児童達が、希望者180人に抹茶をふるました。 市少年少女合唱団では、指導者と合唱団員が年間10回を超えるイベントに出演及び開催をした。			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	A	評価理由	どちらの事業も多くの方に喜んでいただいているため。
		課題	特になし。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	② スポーツ・レクリエーションや文化・芸術活動の促進		
具体的施策	大会やイベントの開催		
事業内容	・各種スポーツ大会		
担当課	生涯学習課	事業対象年齢	小学生～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
第50回市民総合体育大会 11,079人参加 第40回宇治市障害者スポーツ大会 721人参加 第40回全日本中学ボウリング選手権大会 194人参加 第34回市民スポーツまつり 15,000人参加 第32回市民駅伝競走大会 83人参加 第33回宇治川マラソン大会 2,207人参加 第17回市民ファミリーバドミントン大会 90人参加			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	一定の参加人数を得ることができ、市民のスポーツ技術の向上の機会として大会を運営することができたため。
		課題	事業の円滑な運営と、効果的な広報を検討する必要がある。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	③ 青少年センターや図書館等の充実		
具体的施策	青少年センター事業の充実		
事業内容	・学習・文化活動 ・体育・スポーツ・レクリエーション活動		
担当課	善法青少年センター	事業対象年齢	小学生・中学生
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
・学習・文化活動 書道教室・えいごくらぶ・手作り教室・料理教室・体験合宿・学習会等 (延べ実施回数 253回 延べ参加人数 2,295人) 体育・スポーツ・レクレーション活動 ・春、秋のレクレーション・スポーツクラブ・お楽しみ会・体験シリーズ・おもしろパーティー等 (延べ実施回数 28回 延べ参加人数 415人)			今までの成果を活かしながら更に事業参加者の増加を目指す。
評価	B	評価理由	様々な事業で異年齢の子ども達が協力して活動するようになったため。
		課題	事業がマンネリ化しないように更に魅力あるものへ変革していく必要がある。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(3) 青少年センターや図書館等の充実		
具体的施策	青少年センター事業の充実		
事業内容	・学習・文化活動 ・体育・スポーツ・レクリエーション活動		
担当課	河原青少年センター	事業対象年齢	小学生・中学生
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
毎年の実施で定着している事業もあり、参加者にも周知され定番として安定した事業もある。一方、従来にない教室を実施するなど、定着した事業・新規事業の両面からの事業展開を行っている。			現状の事業展開を維持し、実施方法の見直しなど改善点があれば、改善につとめていく。
評価	B	評価理由	大きな事業は、関係機関・保護者・地元の各組織の連携により実施され、その波及効果は大きい。また、センター単独の事業も人気が高いものが多く、おおむね成果が上がっていると考えられるため。
		課題	事業実施にあたっては、今後も保護者の協力を求めていくなど、より一層の協力体制を築いていかなければならない。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(3) 青少年センターや図書館等の充実		
具体的施策	青少年センター事業の充実		
事業内容	・各種教室、催し物、こどもクラブ、地域との交流活動事業		
担当課	大久保青少年センター	事業対象年齢	小学生・中学生
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
青少年が、自ら学び自ら考えるなどの「生きる力」を育み、健全育成を図ることを目的に、体験活動、文化・スポーツ活動、地域の大とのふれあいなど各種事業を実施。 ・各種実施事業・地域との交流事業 57回、参加者2,394人 ・こどもクラブ 年間 156回、参加者2,774人			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	現状のセンターの施設内容・設備等のハード面を考慮すると、概ね効果的に実施できたため。
		課題	いわゆる青少年全般に関する支援事業や施策の充実の必要がある。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(③) 青少年センターや図書館等の充実		
具体的施策	図書館事業の充実		
事業内容	・資料提供事業 ・児童・青少年向け図書展示 ・読書推進事業 ・おはなし会	・図書館見学（小学生） ・職場体験学習の受け入れ（中学生） ・団体貸出	
担当課	中央図書館	事業対象年齢	0歳～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
・児童書購入冊数：1,799冊 ・児童書貸出冊数：128,316冊（学校等団体貸出分を含む） ・児童書の展示：19回 ・児童向け読書推進事業：10回、365人 ・おはなし会：17回、361人、おはなしのへや：12回、153人 ・図書館見学：9校、800人 ・職場体験学習：5校、10人 ・団体貸出：16団体、5,240冊			継続して蔵書や読書環境の充実を図り、図書館に親しみ、本と出会い、読書の楽しさを知ることができる事業を実施する。
評価	B	評価理由	子どもの自主的な学習や読書活動を支援することができたため。
		課題	読書を好まない子どもに対する取り組みが今後の課題である。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(③) 青少年センターや図書館等の充実		
具体的施策	図書館事業の充実		
事業内容	・資料提供事業 ・児童図書展示 ・読書推進事業	・おはなし会 ・図書館見学（保育園・幼稚園児・小学生） ・職場体験学習の受け入れ（中学生）	
担当課	東宇治図書館	事業対象年齢	0歳～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
・児童書購入冊数：341冊 児童書貸出冊数：63,360冊 ・児童書の展示：12回 ・児童向け読書推進事業：6回開催 229人 ・おはなし会：25回 222人 ・おはなしのへや：11回 54人 ・職場体験学習：3校 6人 ・図書館見学：3校 332人 読書クラブ1校6回 延べ97人 4歳児2園58人			継続して蔵書や読書環境の充実を図り、合わせて図書館に親しみ、本と出会い、読書の楽しさを知ることができる事業を実施する。
評価	B	評価理由	子どもの自主的な学習や読書活動を支援することができたため。
		課題	児童書の貸出冊数は増加したが、おはなし会の参加者は減少しており、参加したいと思わせる企画の充実と広報が課題である。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(3) 青少年センターや図書館等の充実		
具体的施策	図書館事業の充実		
事業内容	・資料提供事業 ・児童図書展示 ・読書推進事業	・おはなし会 ・図書館見学（小学生） ・職場体験学習の受け入れ（中学生）	
担当課	西宇治図書館	事業対象年齢	0歳～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・児童書購入冊数：389冊、児童書貸出冊数：63,716冊 ・児童書の展示：11回 ・児童向け読書推進事業：5回、385人 ・おはなし会：11回、66人　おはなしのへや：12回、135人 ・図書館見学：5校、348人 ・職場体験学習：4校、8人 			引き続き児童書及び子どもの読書環境の充実を図ると併に、図書館に親しみ、本と出会い、読書の楽しさを知ることができる事業を実施していく。

評価	B	評価理由	選書購入により児童書の充実を図った結果、前年度比140冊増加した。また、多数の参加者が見込めるイベント等の効果があり、児童書の貸出冊数は2,672冊増加したため。
		課題	児童書貸出冊数は増加したものの、おはなし会の参加者数は低迷している。定例のおはなし会、おはなしのへやの周知を図っていく。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(3) 青少年センターや図書館等の充実		
具体的施策	生涯学習センター事業の充実		
事業内容	・夏休み子ども★わくわくフェア ・こどもスポーツチャンバラ道場 ・おやこっこらんど ・理科出前実験教室（平成28年度）	事業対象年齢	0歳～小学生
担当課	生涯学習センター	事業対象年齢	0歳～小学生
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの小学生を対象に、子どもたちが学び、遊び、手作りの楽しさを体験し、出演者・参加者の世代を超えた交流を目的として夏休み子ども★わくわくフェアを2日間開催。 出演者は計34コーナー（団体）、参加者は2,493人。 ・幼児から小学生までを対象に、こどもスポーツチャンバラ道場を実施。全5回。参加人数は延べ59人。 ・乳幼児とその保護者を対象に遊び場や遊びを提供する中で、成長し新しい発見をする場としておやこっこらんどを開催。 全12回。参加人数は延べ757人。 ・小学生を対象に「驚き、不思議、面白サイエンス」をテーマに理科出前実験教室を開催。全5回。参加人数は延べ84人。 			夏休み子ども★わくわくフェアは、平成28年度から名称変更した。理科出前実験教室に替わり、小学生を対象にした「こども漢字講座」を実施する。他の事業は従来に同じ。
評価	B	評価理由	乳幼児から小学生、その保護者にむけて多くの事業を開催することができたため。
		課題	小学校の行事開催日と重ならないよう、日程については毎年確認していく必要がある。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(③) 青少年センターや図書館等の充実		
具体的施策	公民館事業の充実		
事業内容	【中央公民館】 ・夏休み子ども自主活動室開放事業 ・春休み子どもお楽しみ劇場 ・夏休み親子木工教室	・子どもの居場所づくり支援事業 ・人形劇フェスティバル	
担当課	生涯学習課	事業対象年齢	0歳～高校生
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
・夏休み子ども自主活動室開放事業 7/16～8/12の期間。 参加人数延べ212人。			春休み子どもお楽しみ劇場は平成28年度で終了した。 他の事業は従来に同じ。
・春休み子どもお楽しみ劇場 年1回。参加人数100人。 ・夏休み親子木工教室 講座の回数：2講、参加組数延べ39組。 ・子どもの居場所づくり支援事業 開催日数：28日、開催講座数（延べ）：40講座、参加人数延べ452人。 ・人形劇フェスティバル 年1回。参加人数200人。			
評価	B	評価理由	公民館サークルや地域住民の協力で、様々な体験活動ができ、子どもの成長を助け、大人が教える喜びを味わう機会となつたため。
		課題	公民館サークル等の協力団体の活動を生かしながら、子どもの成長を助けるため、事業の円滑な運営をし、効果的な広報を実施する必要がある。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(③) 青少年センターや図書館等の充実		
具体的施策	公民館事業の充実		
事業内容	【宇治公民館】 ・夏休み子ども木工教室 ・夏休み子ども理科教室	・子育て広場 ・子どもの居場所づくり支援事業	
担当課	生涯学習課	事業対象年齢	0歳～小学生
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
・夏休み子ども木工教室 年1回。参加人数21人。 ・夏休み子ども理科教室 小学校低学年対象、高学年対象を各1回実施。 参加人数低学年20人、高学年16人。 ・子育て広場@宇治公民館共催事業 全11回実施。参加人数延べ271人。 ・子どもの居場所づくり支援事業 茶道6回、木工1回、料理3回の全10回実施。参加人数延べ177人。			子育て広場は年12回実施に変更。他は従来に同じ。
評価	B	評価理由	公民館も子育て支援の場であることを広く知つてもらえた。また体験学習を通して子ども同士刺激し合い交流できたため。
		課題	引き続き定期的に開催するとともに、効果的な広報を検討する必要がある。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(3) 青少年センターや図書館等の充実		
具体的施策	公民館事業の充実		
事業内容	【木幡公民館】 ・夏休みはなまる工作教室 ・親と子のちょっとおしゃれなクリスマスパーティー	・子どもの居場所づくり支援事業 ・親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部 ・親と子のちょっとおしゃれな「春を呼ぶ音楽会」	
担当課	生涯学習課	事業対象年齢	幼児～小学生
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
・夏休みはなまる工作教室 年1回。参加人数20人。 ・親と子のちょっとおしゃれなクリスマスパーティー 年1回。参加人数41人。 ・子どもの居場所づくり支援事業 年4回土曜日に実施。参加人数延べ47人。 ・親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部 年5回。参加人数延べ172人。 ・親と子のちょっとおしゃれな「春を呼ぶ音楽会」 年1回。参加人数46人。			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	サークルや高齢者教室運営委員の協力で、三世代交流や親同士、子ども同士の交流が図れたため。
		課題	参加者が固定化してきており、新規参加者募集が課題。また、祖父母世代と親子世代の世代間ギャップを埋め、より親しみを持って交流するための手法を検討し、改善していくことが課題である。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(3) 青少年センターや図書館等の充実		
具体的施策	公民館事業の充実		
事業内容	【小倉公民館】 ・おぐらクッキングクラブ（平成28年度） ・夏休みふれあい広場 ・子どもの居場所づくり支援事業		
担当課	生涯学習課	事業対象年齢	幼児～小学生
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
・おぐらクッキングクラブ 全5回土曜日に実施。参加人数延べ83人。 ・夏休みふれあい広場 年1回。参加人数32人。 ・子どもの居場所づくり支援事業 全8回5月から3月までの概ね月1回土曜日に実施。参加人数延べ203人。			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	サークルや地域の人の協力を得て、学校や家庭で経験できない様々な体験を通して心豊かな人間性を育む機会を提供できたため。
		課題	引き続き定期的に開催をするとともに、効果的な広報を検討する必要がある。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	③ 青少年センターや図書館等の充実		
具体的施策	公民館事業の充実		
事業内容	【広野公民館】 ・子ども茶道教室 ・夏休み親子木工教室 ・子どもの居場所づくり支援事業	担当課	生涯学習課
		事業対象年齢	小学生～中学生
	平成28年度成果・実績		次年度以降実施内容
	・子ども茶道教室 全8回。登録20人、延べ129人参加。 ・夏休み親子木工教室 参加組数14組。 ・子どもの居場所づくり支援事業 科学の教室。全5回。 参加人数延べ72人。		平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	人と人との交わりの大切さなどを学ぶよい機会となった。また子どもの探求心に繋がる「発見の喜び」を提供する機会となつたため。
		課題	市内各施設において、様々な事業を実施している中で、他とどのように差別化を図っていくかについて検討が必要である。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	④ 子どものまちづくりへの参加の促進		
具体的施策	子どもが参加・企画する取り組みへの支援		
事業内容	・中学生・高校生を対象とした保育体験		
担当課	こども福祉課	事業対象年齢	中学生～高校生
	平成28年度成果・実績		次年度以降実施内容
平成28年度実績	8/1～8/3 13名参加 12/26 2名参加		中学・高校生の保育体験を市内保育所等にて年2回実施。 平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	生徒の主体的な参加により開催した。参加者のアンケートから、総じて貴重な体験ができたとの感想があるため。
		課題	参加人数のさらなる増加に向けて、開催時期等の検討が必要である。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	④ 子どものまちづくりへの参加の促進		
具体的施策	子どもが参加・企画する取り組みへの支援		
事業内容	・青少年によるクリーン宇治運動		
担当課	生涯学習課	事業対象年齢	小学生～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
青少年団体への呼び掛けにより、塔の島から天ヶ瀬ダムを中心に、クリーン宇治運動を実施。 ・第1回雨天により中止。 ・第2回平成28年11月11日171人が参加。			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	活動の中止はあったものの、28年度も多くの団体・参加者を得たため。
		課題	引き続き参加者増加に向けた取り組みが課題である。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	④ 子どものまちづくりへの参加の促進		
具体的施策	ポスターや標語等の募集		
事業内容	・児童福祉週間の標語の募集と紹介		
担当課	こども福祉課	事業対象年齢	妊婦～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
平成29年度児童福祉週間の標語募集を市ホームページにて掲載。 募集期間 平成28年9月1日～10月20日 平成28年度児童福祉週間の標語を市ホームページにて紹介。 平成28年度児童福祉週間 平成28年9月1日～10月20日			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	D	評価理由	国の児童福祉週間ににおける取り組みのみとなっており、より効果的な取り組みなどの検討が必要であるため。
		課題	国の児童福祉週間ににおける取り組みのほか、より効果的な取り組みなどの検討が必要である。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(5) 学びや遊びの情報提供の充実		
具体的施策	学びや遊びについての情報提供		
事業内容	・生涯学習情報UJIの発行		
担当課	生涯学習センター	事業対象年齢	妊婦～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
市内で行われる事業の情報を生涯学習という切り口で市民に提供し、新たな学習活動のきっかけとなることを目的として、情報紙を年4回、各2,500部発行。			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	市民グループ・個人が市民のページに記事を掲載することで、日頃の活動の紹介や広報として活用しているため。
		課題	市民の編集委員が減少傾向にあるので、募集していく必要がある。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(5) 学びや遊びの情報提供の充実		
具体的施策	生涯学習関連施設における事業の情報提供		
事業内容	・生涯学習情報UJIの発行 ・うじ市民活動サポート事業		
担当課	生涯学習センター	事業対象年齢	妊婦～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
・市内で行われる事業の情報を生涯学習という切り口で市民に提供し、新たな学習活動のきっかけとなることを目的として、生涯学習情報UJIを年4回、各2,500部発行。 ・宇治市内で生涯学習活動を行っているグループ・個人を対象に、生涯学習センターが事業開催の会場や広報のサポートを行う。28年度は9団体を採択。			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	市民グループ・個人が市民のページに記事を掲載することで、日頃の活動の紹介や広報として活用しているため。
		課題	より多くの市民に見てもらえるようにする必要がある。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(4) まちじゅうが学びと遊びの機会づくり		
取り組み内容	(5) 学びや遊びの情報提供の充実		
具体的施策	地域での活動や団体活動の広報への支援		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報UJIの発行 ・うじ市民活動サポート事業 		
担当課	生涯学習センター	事業対象年齢	妊婦～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・市内で行われる事業の情報を生涯学習という切り口で市民に提供し、新たな学習活動のきっかけとなることを目的として、生涯学習情報UJIを年4回、各2,500部発行。 ・宇治市内で生涯学習活動を行っているグループ・個人を対象に、生涯学習センターが事業開催の会場や広報のサポートを行う。28年度は9団体を採択。 			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	市民グループ・個人が市民のページに記事を掲載することで、日頃の活動の紹介や広報として活用しているため。
		課題	より多くの市民に見てもらえるようにする必要がある。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(5) 親同士が交流できる機会づくり		
取り組み内容	(1) 子育てサークルの育成・支援の推進		
具体的施策	子育てサークルの育成		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援センターでのサークル支援事業 		
担当課	こども福祉課	事業対象年齢	妊婦～就学前
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
<p>地域子育て支援基幹センターにてサークル育成・支援を実施。</p> <p>平成28年度実績 おもちゃ等備品貸出 83回 保育士・保健師派遣 20回 サークル登録数 16 (平成27年度 17) サークル代表者交流会開催 3回</p>			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	C	評価理由	計画に基づく取り組みを実施しているが、子育てサークル登録数が減少しているため。
		課題	子育てサークル登録数が増加しない要因等を分析しながら、より効果的な市民活動等による子育て支援の取り組みが必要である。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(5) 親同士が交流できる機会づくり		
取り組み内容	① 子育てサークルの育成・支援の推進		
具体的施策	子育てサークルのネットワーク化		
事業内容	・地域子育て支援センターでのサークル支援事業		
担当課	こども福祉課	事業対象年齢	妊婦～就学前
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
地域子育て支援基幹センターにてサークル育成・支援を実施。 平成28年度実績 おもちゃ等備品貸出 83回 保育士・保健師派遣 20回 サークル登録数 16(平成27年度 17) サークル代表者交流会開催 3回			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	C	評価理由	計画に基づく取り組みを実施しているが、子育てサークル登録数が減少しているため。
		課題	子育てサークル登録数が増加しない要因等を分析しながら、より効果的な市民活動等による子育て支援の取り組みが必要である。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(5) 親同士が交流できる機会づくり		
取り組み内容	② 親子の交流の場づくりの促進		
具体的施策	地域子育て支援拠点を中心とした親子の集いなどの充実		
事業内容	・地域子育て支援拠点事業 ・地域子育てひろばへの支援		
担当課	こども福祉課	事業対象年齢	0歳～就学前
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
地域子育て支援拠点の開設及び地域子育てひろばへの支援を実施しており、平成28年度は、西小倉地域において、新たな地域子育て支援拠点を週3日開設。 平成28年度実績 地域子育て支援拠点 8か所 地域子育てひろば 6か所			市民ニーズの把握、分析に努めながら、引き続き今後の支援施策の展開を検討する。
評価	A	評価理由	宇治市子ども・子育て支援事業計画における確保方策に基づき、西小倉地域において、新たな地域子育て支援拠点を開設したため。
		課題	宇治市子ども・子育て支援事業計画における確保方策に基づき、空白地となっている中学校区での地域子育て支援拠点の開設が必要である。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(5) 親同士が交流できる機会づくり		
取り組み内容	② 親子の交流の場づくりの促進		
具体的な施策	仲間づくりの機会の充実と周知啓発		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点事業 ・地域子育てひろばへの支援 		
担当課	こども福祉課	事業対象年齢	0歳～就学前
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
<p>地域子育て支援拠点の開設及び地域子育てひろばへの支援を実施しており、平成28年度は、西小倉地域において、新たな地域子育て支援拠点を週3日開設。</p> <p>平成28年度実績 地域子育て支援拠点 8か所 地域子育てひろば 6か所</p>			市民ニーズの把握、分析に努めながら、引き続き今後の支援施策の展開を検討する。
評価	A	評価理由	宇治市子ども・子育て支援事業計画における確保方策に基づき、西小倉地域において、新たな地域子育て支援拠点を開設したため。
		課題	宇治市子ども・子育て支援事業計画における確保方策に基づき、空白地となっている中学校区での地域子育て支援拠点の開設が必要である。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(5) 親同士が交流できる機会づくり		
取り組み内容	② 親子の交流の場づくりの促進		
具体的な施策	園庭開放など幼稚園、保育所、認定こども園による支援事業		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放等、子育て世帯への支援 		
担当課	保育支援課	事業対象年齢	0歳～就学前
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
入所していない子と親等に保育所等を開放し、入所児童との交流を通じて、育児についての相談助言を享受する機会を設けた。			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	各園で特色ある取り組みができているため。
		課題	事業参加者の増加等に向け、さらなる取り組みを検討する必要がある。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(5) 親同士が交流できる機会づくり		
取り組み内容	(2) 親子の交流の場づくりの促進		
具体的施策	園庭開放など幼稚園、保育所、認定こども園による支援事業		
事業内容	・公立幼稚園での園庭開放の検討		
担当課	学校教育課	事業対象年齢	0歳～就学前
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
未就園児行事の中で、あわせて園庭開放を一部実施した。			行事外の実施については、引き続き検討していく。
評価	D	評価理由	未就園児行事の中での園庭開放にとどまっているため。
		課題	一般的な園庭開放の実施に向けては、安全面や管理体制などについて、検討が必要である。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(5) 親同士が交流できる機会づくり		
取り組み内容	(3) 市民活動のネットワーク化の促進		
具体的施策	市民活動のネットワーク化と組織の設立		
事業内容	・サークル代表者交流会		
担当課	こども福祉課	事業対象年齢	0歳～就学前
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
サークル代表者交流会を年3回開催し、おもちゃ等備品貸出や保育士・保健師派遣等の子育てサークルへの支援についての広報・周知を実施。			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
平成28年度実績	開催日	4月26日、10月26日、平成29年2月21日	
	サークル登録数	16 (平成27年度 17)	
評価	B	評価理由	計画に基づく取り組みを実施しているが、子育てサークル登録数が減少しているため。
		課題	子育てサークル登録数が増加しない要因等を分析しながら、より効果的な市民活動等による子育て支援の取り組みが必要である。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(5) 親同士が交流できる機会づくり		
取り組み内容	(③) 市民活動のネットワーク化の促進		
具体的施策	身近な地域での活動拠点の確保		
事業内容	・ゆめりあうじ施設一般開放		
担当課	男女共同参画課	事業対象年齢	妊娠～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
男女共同参画、子育て支援、観光など市民交流のための複合施設として多くの利用を図るため、機械設備総合管理業務、清掃業務、駐車場料金精算システム保守業務を委託し施設の適正管理に努めた。			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	概ね効果的に実施できているため。
		課題	施設の老朽化により、今後、故障が多発する可能性があるが、迅速な対応に努める必要がある。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(5) 親同士が交流できる機会づくり		
取り組み内容	(④) 地域子育て支援拠点の整備		
具体的施策	新たな地域子育て支援拠点の整備		
事業内容	・新たな地域子育て支援拠点の開設検討		
担当課	こども福祉課	事業対象年齢	0歳～就学前
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
地域子育て支援拠点の開設及び地域子育てひろばへの支援を実施しており、平成28年度は、西小倉地域において、新たな地域子育て支援拠点を週3日開設。 平成28年度実績 地域子育て支援拠点 8か所 地域子育てひろば 6か所			市民ニーズの把握、分析に努めながら、引き続き今後の支援施策の展開を検討する。
評価	A	評価理由	宇治市子ども・子育て支援事業計画における確保方策に基づき、西小倉地域において、新たな地域子育て支援拠点を開設できたため。
		課題	宇治市子ども・子育て支援事業計画における確保方策に基づき、空白地となっている中学校区での地域子育て支援拠点の開設が必要である。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(5) 親同士が交流できる機会づくり		
取り組み内容	(4) 地域子育て支援拠点の整備		
具体的施策	地域子育て支援拠点の充実		
事業内容	・地域子育て支援拠点事業実務担当者会議		
担当課	こども福祉課	事業対象年齢	0歳～就学前
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
宇治市地域子育て支援拠点事業実務担当者会議を月1回実施し、各地域子育て支援拠点での情報共有、意見交換等を実施。			平成29年度も引き続き毎月第2火曜日に地域子育て支援基幹センターにて開催。
平成28年度実績	開催日 每月第2月曜日 場所 宇治市地域子育て支援基幹センター		
評価	A	評価理由	計画に基づき会議を開催するとともに、すべての拠点も参加して開催できたため。
		課題	拠点同士の情報共有、意見交換等をさらに活発化するとともに、拠点の利用者のニーズ等の把握についてさらに取り組むことが必要である。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(5) 親同士が交流できる機会づくり		
取り組み内容	(4) 地域子育て支援拠点の整備		
具体的施策	子育て支援総合コーディネーターの配置		
事業内容	・地域子育て支援基幹センターへの配置 ・来庁者子育て支援コーナーへの配置		
担当課	こども福祉課	事業対象年齢	妊婦～18歳未満
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
平成27年度より、市役所1階市民交流ロビーにおいて、子ども・子育て支援新制度における利用者支援事業として、子育て支援総合コーディネーターによる子育て支援全般に関する相談を実施する「来庁者子育て支援コーナー」を開設。			平成29年度も引き続き毎月第2火曜日に地域子育て支援基幹センターにて開催。
平成28年度実績	1,250件（相談）		
評価	A	評価理由	宇治市子ども・子育て支援事業計画における確保方策に基づき、市内1か所の利用者支援事業として実施したため。
		課題	今後、計画に基づく事業実施について、地域子育て支援拠点での実施などそのあり方について検討が必要である。

平成28年度 宇治市子ども・子育て支援事業計画 具体的施策評価シート

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(5) 親同士が交流できる機会づくり		
取り組み内容	(4) 地域子育て支援拠点の整備		
具体的施策	地域子育て支援拠点と他機関との連携		
事業内容	・地域子育て支援拠点事業実務担当者会議		
担当課	こども福祉課	事業対象年齢	0歳～就学前
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
宇治市地域子育て支援拠点事業実務担当者会議を月1回実施し、各地域子育て支援拠点での情報共有、意見交換等を実施。			平成29年度も引き続き毎月第2火曜日に地域子育て支援基幹センターにて開催。
平成28年度実績 開催日 每月第2月曜日 場所 宇治市地域子育て支援基幹センター			
評価	B	評価理由	計画に基づき会議を開催しているが、他機関との連携をさらに推進する必要があるため。
		課題	拠点同士の情報共有等のみではなく、拠点の利用者のニーズ等に応じて、他機関との連携をさらに図つていくことが必要である。

基本目標	3 地域で子育て支援ができる環境づくりの推進		
施策の方向性	(5) 親同士が交流できる機会づくり		
取り組み内容	(4) 地域子育て支援拠点の整備		
具体的施策	子育て支援者への支援		
事業内容	・子育て支援者研修会 ・地域子育てひろばへの支援		
担当課	こども福祉課	事業対象年齢	0歳～就学前
平成28年度成果・実績			次年度以降実施内容
・市内の子育て支援関係団体等を対象に実施する子育て支援者研修会を年2回実施。 125名参加（年2回計） ・地域住民が運営し、市が補助金を出す地域子育てひろばを民生児童委員の協力も得ながら市内6か所で開設。			平成28年度と同様に引き続き実施予定。
評価	B	評価理由	計画に基づいた事業を実施しているが、地域とともに子育てを支援する環境づくりに向けたさらなる取り組みの検討が必要となるため。
		課題	地域とともに子育てを支援する環境づくりを促進するために、既存の事業をさらに推進するとともに、新たな取り組み等の検討が必要である。